

「花と歌舞伎と名水のまち」から学ぶ

現在、政府では道州制プランづくりと平行して2010年の市町村合併特例法の期限切れを見据えた、定住自立圏構想の作業に着手するなど、地方の小規模自治体にとっては目を離せない状況にあります。

このよつな中、第12回全国小さくても輝く自治体フォーラムが、埼玉県小鹿野町で開催されました。

オープニングは220年前から伝わる歌舞伎、ご存知、明智光秀が主君織田信長を本能寺で討った後、羽柴秀吉に滅ぼされるまでの経過を13段に脚色した「絵本太功記十段目尼ヶ崎閑居之場」が上演されました。

スタッフの平均年齢は82歳で、92歳の方も芸歴60年を誇り、ホールに響き渡る声量で圧巻、この町がいかに高齢者の方々が元気で暮らしているかを示すセレモニーでした。

前日は、小鹿野町の保健・福祉・医療連携システムを作る保健・医療の現場を視察させて頂きました。

小鹿野町は人口減少傾向、高齢化率も28.23%、過疎化がすすんでいます。

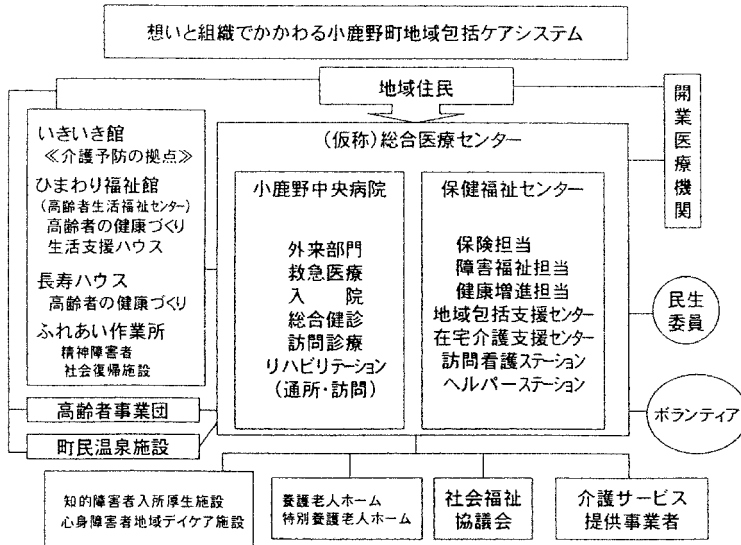
特筆すべきは、平成16年に「包括ケア会議」を開始した事です。

これは、医師、看護師、理学療法士、保健師、管理栄養士、介護支援専門員、保健福祉課及び病院の管理職等で構成し、互いの業務を理解し問題解決を図るため、それぞれの担当の取組や課題をレポートし検討するもので、職員意識改革、発想転換、円滑な人間関係づくりなど、多くの効果があり連携を促進しているということです。

尚、これらの地域包括ケアシステムの取り組みと精神保健活動が認められ保健文化賞を受けられています。今後、朝日町も高齢化が進む中、地域の皆様に協力をいただき、健康づくりをさらに充実してゆきたいと考えています。

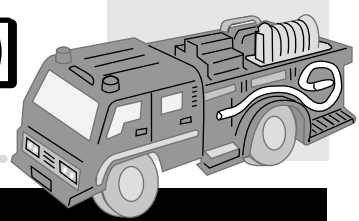
この3月号をもって「町長室からの便り」を終了させていただきます。

「町長室からの便り」を長く愛読していただきました皆様には感謝すると共に、これからも皆様に理解を得られる行政を心がけてまいりますので、よろしくお願いたします。



【防災啓発と地域とのふれあい】

をテーマに今年も開催します。



防災コーナー 12

消防ふれあい広場

日時 3月15日(日) 午前9時30分~12時 場所 保健福祉センター駐車場

内容 防火救急相談所・住宅用火災警報器相談所・記念写真・水消火器体験
はしご車搭乗体験・煙体験ハウス・地震体験車など

※雨天時は保健福祉センター内にて行いますので、はしご車搭乗体験などは中止となります。

3月1日~7日

春の火災予防運動

「火のしまつ 君がなくて 誰がする」

今年に入り、全国各地で住宅火災が発生しています。

また、てんぷら油を使用しているときによく起こっています。次のことに気をつけて、火災予防に心がけましょう。

- てんぷら油を使用しているときはその場を離れない。 ○少ない量のてんぷら油では調理をしない。
- ガスコンロを使用している家庭では温度センサー付のコンロを使用する。
- IHクッキングヒーターでは、底が変形した鍋を使用すると温度センサーが正常に働かない場合があるため、底の平らな鍋を使用する。

お問い合わせ先 四日市市消防本部 予防保安課 (356-2010)